

第2期琴浦町まち・ひと・しごと創生戦略【概要】（案）

目指す姿

5つのプロジェクトによる持続可能な地域社会の実現

◆第2戦略策定のポイント◆

- ・日々の暮らしや事業所活動を充実させることにより、「まち」の魅力を向上することが最も優れた人口減対策である。
- ・第1期戦略の検証結果、住民意見を基軸に効果的で実効ある取組みに絞った施策とする。
- ・新たな技術（情報通信、人工知能、ロボットなど）の積極的な活用とSDGsの理念を盛り込む。

「住んでよかったと誇れる」
「帰って来たい」
「住んでみたい」 ふるさと へ

子育て教育

安心して生み育てることができる環境を守り、ふるさとを誇りに思う教育をすすめる

○合計特殊出生率 1.8以上（R1～R5の平均値）

- ①妊娠・出産・子育てを支える環境づくり
- ②安心して働くための環境づくり
- ③「誰一人取り残さない」質の高い教育の実現
- ④ふるさとを誇りに思う教育の推進
- ⑤地域を支える人材の育成と環境整備

- 長期休業期間における児童クラブ事業の実施
- 1人1台の情報端末整備
- デジタル教材、教育用システムの導入
- フリースクールに対する授業料助成
- 学校現場の働き方改革の推進
- 琴浦こども塾、鳥取中央育英高校・鳥取大学連携
- 未来人材育成塾への中学生派遣
- 熱中小学校への支援
- まなびタウンとうはく、図書館のリニューアル整備
- 民間資金の活用による東伯総合公園の再整備

健康活力

全世代が活躍する健康寿命日本一のまちを目指す

○介護を要する期間 男性0.5年短縮 女性0.5年短縮

- ①新時代の健康づくり
- ②運動・食生活改善・社会参加の推進

- AIを活用した自動応答による健康相談の実施
- 健康経営の推進
- トレーニングルームの充実（世代ニーズに対応した運動プログラムの開発）
- 子ども向けスポーツ教室の実施
- ヘルシーメニューの開発・提供
- アクティブシニア層に対する活躍の場の提供
- グリーンヘルスツーリズムの推進

経済産業

産業振興を図り、持続可能な地域経済の好循環を実現する

○町内企業への新規就職者数 1135人（R2～R6年の累計）

○農林水産業の新規就業者数 30人（R2～R6年度の累計）

- ①起業・創業の推進
- ②多様な働き方・雇用対策の推進
- ③琴浦ブランド化の推進と販路拡大
- ④地域内経済循環の促進
- ⑤農林水産業への未来技術活用と担い手、新規就業者の育成

- 起業に対する助成
- 空き家を活用したチャレンジショップに対する支援
- ワーケーション事業の実施
- コワーキングスペースの整備
- 和牛、養殖漁業に対する支援
- 企業同士のコラボ商品開発支援
- 地域経済循環調査による分析と対策
- スマート農業の推進
- 定年退職後の就農者に対する農業研修の実施

観光交流

まちの魅力を再構築し、人を地域の中に呼び込む観光を展開する

○観光入込客数 90万人（R6年末）

○観光分野における新規事業等での雇用創出数 10人（R2～R6年度の累計）

- ①道の駅を“核”として町内周遊を促進
- ②琴浦ブランドの再構築による情報発信の強化
- ③琴浦の恵みを活かした観光の展開

- 道の駅琴の浦、道の駅ポート赤碕の見直し
- 観光客の動線分析による周遊プラン作成
- ロゴマーク、キャッチコピーの新規作成によるブランドメッセージの発信
- 観光パンフレットの作成
- 古民家を活用した農家民泊事業の推進
- 斎尾廃寺跡の整備と活用
- 一向平キャンプ場のリニューアル整備

関係定着

暮らし続けることができるまち、そして選ばれるまちをつくる

○人口社会減数 200人以下（R2～R6年の累計）

○IJUターン者数 750人（R2～R6年度の累計）

- ①暮らし続けることができる地域づくり
- ②関係人口の創出・拡大
- ③移住・定住の促進

- 地区ごとの人口ビジョン作成ワークショップの実施
- 公民館と地域運営組織の連携強化
- 住民ドライバー活用による地域交通実証実験
- ふるさと住民票の発行
- ふるさと納税、企業版ふるさと納税の推進
- 琴浦町独自のIJUターン者に対する奨学金返済支援制度の整備